

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	旭区
学 校 名	大宮小学校
学校長名	丹羽 和江

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大宮小学校では、第6学年 72名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語、算数、理科ともに全国平均を上回ることができた。
 全国平均よりも国語は5.4ポイント、算数は1.8ポイント、理科は7.7ポイント上回った。
 平均無回答率も国語、算数、理科ともに全国平均より下回っており、特に国語科においてあきらめずに粘り強く取り組むことができている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

A話すこと・聞くこと、B書くことにおいては、全国平均を上回っている。しかし、C読むことの領域においては全国平均より下回る結果となった。C読むことにおいては、今年度物語文が出題された。説明文では、文と文を関連付けて読むことをしているが、物語文においては、テストのような短時間での回答を要する際には、必要なところを取り出して読むことを指導してきた。しかしながら、今回の出題においては、物語全体像を読むことが必要とされていたため、部分的な情報の取り出しをした児童において誤答が多かったのではないかと考えられる。今後は、ショートストーリーのような文をさっと読み、全体像を掴めるような力をつけていく必要がある。また、A話すこと・聞くことにおいても、部分的にしか捉えることができておらず、話の流れの中で、話し手が伝えたいことを明確に受け取ることができていない結果となった。

B書くことの領域においては、全国平均より12.2ポイント上回ることができた。これは、これまでに必要に応じて資料を用いて、自分の考えを分かりやすくまとめたり、発表するなどの機会を設定し、筋道立てて書くようにしてきた結果だといえる。

【算数】

A数と計算、B図形、C変化と関係においては、全国平均を上回った。しかし、Dデータの活用においては0.4ポイント下回った。多くの資料から目的に応じてデータを活用することができていない。また、割合においても、数量が変わっても、割合は変わらないことや、比例の関係においても苦手としていることが分かった。課題となったところは、今後も日常生活で必要とされる分野であり、学習したことを各教科の関連を図って実際に活用することで身につけていきたい。

【理科】

すべての領域において全国平均を上回り、全体としては、7.7ポイント高かった。これは、理科に対しての興味・関心が高く、日々の授業で、問題を設定・予測・実験・考察に主体的に取り組んできた成果だといえる。課題としては、考察の分野においてのポイントが少し低いため、実験から見えてきたことをもとに解釈し、自分なりの考えをもつことができるようにしていく必要がある。

質問紙調査より

「国語・算数の授業内容がよく分かる」「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」「自分でやると決めたことは、やり遂げる」「将来の夢や目標を持っている」などの項目は、肯定的な回答が全国平均を上回った。研究や研修を重ね、授業改善を行ってきたり、トップアスリートを積極的に招聘し、夢や目標に向かってがんばることの大切さを伝えてきたりするなど、これまでの取り組みの成果が肯定的な回答につながった。
 「自分にはよいところがある」「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する」などの項目は、肯定的な回答が全国平均を下回った。今後、自尊感情、自己有用感を高める取り組みを行ったり、様々な活動や行事において、常に目標を設定し、それに向けて挑戦するよう声をかけたりする必要がある。学校だけではなく、家庭や地域とも連携を行いながら、ともに進めていくようにする。

今後の取組(アクションプラン)

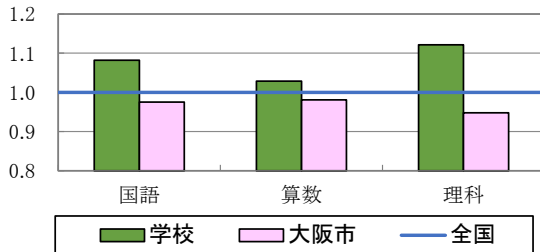
- ・分析して見えてきた課題を、全教職員で共有する。
- ・課題を解決するために、教職員が同じ方向で学力向上に取り組む。
- ・学校の全校あげでの取り組みで「学力は必ず上がる」と教職員の意識をかえる。
- ・授業の中で、ペアやグループで交流する時間を積極的に取り入れた主体的・対話的な授業へと授業改善を行う。
- ・漢字の反復学習や繰り返しテストを行い、漢字の定着を図る。
- ・普段の授業から、本文や根拠をもとに、自分の考えを短い字数でまとめて書く経験を増やす。
- ・多くの子どもが誤答した問題の解き方を再度確認する。
- ・継続して計算の反復学習を行う。
- ・1日数問でも文章問題に取り組む。
- ・低学年から文章問題や立式する際には、大事な言葉や数字に着目させて、印をつけることを徹底する。
- ・個に合わせたレベルの問題を用意し、スモールステップで達成感を味わわせるようにする。
- ・学習したことが実生活に役立つことを実感できるように他教科、領域とも関連付けて指導を行う。

【 全体の概要 】

平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	71.0	65.0	71.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3

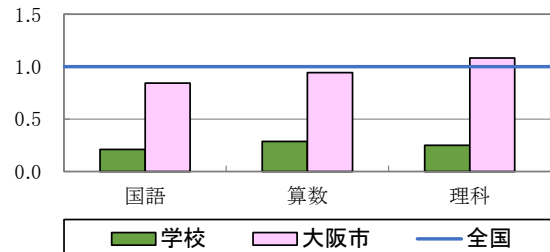
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	1.2	1.0	0.9
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6

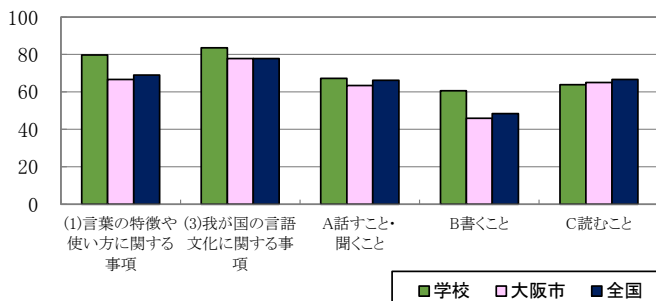
平均無解答率（対全国比）



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	79.7	66.7	69.0
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	83.6	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	67.2	63.4	66.2
B 書くこと	2	60.7	46.0	48.5
C 読むこと	4	63.9	65.0	66.6

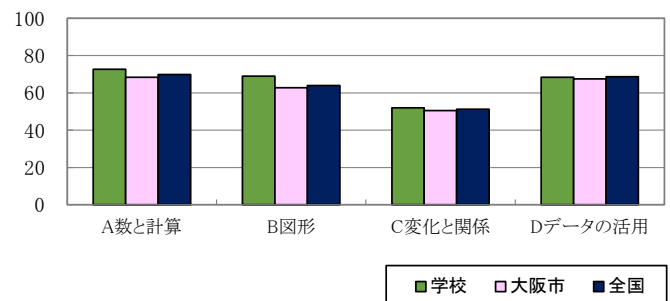
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



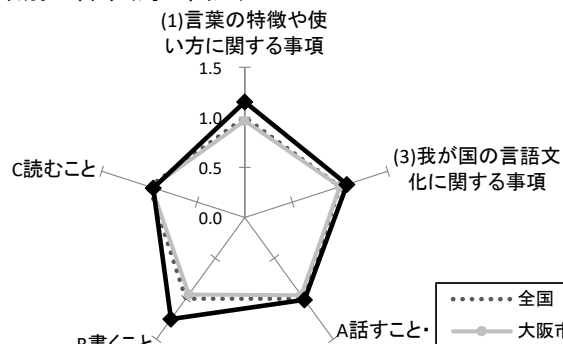
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	72.7	68.4	69.8
B 図形	4	68.9	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	52.0	50.5	51.3
D データの活用	3	68.3	67.5	68.7

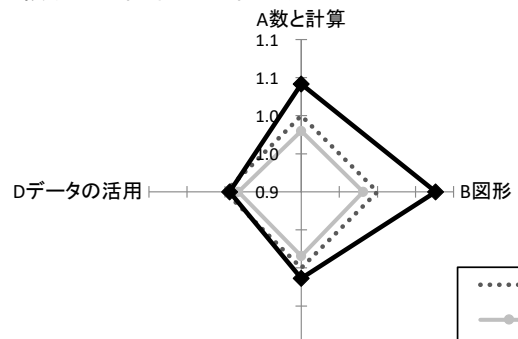
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)

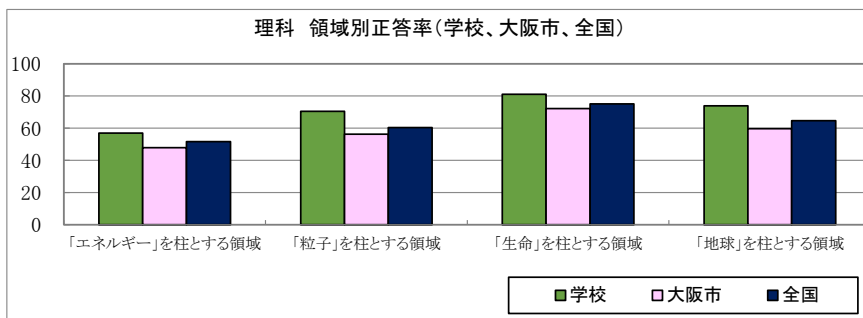


算数 領域別正答率(対全国比)

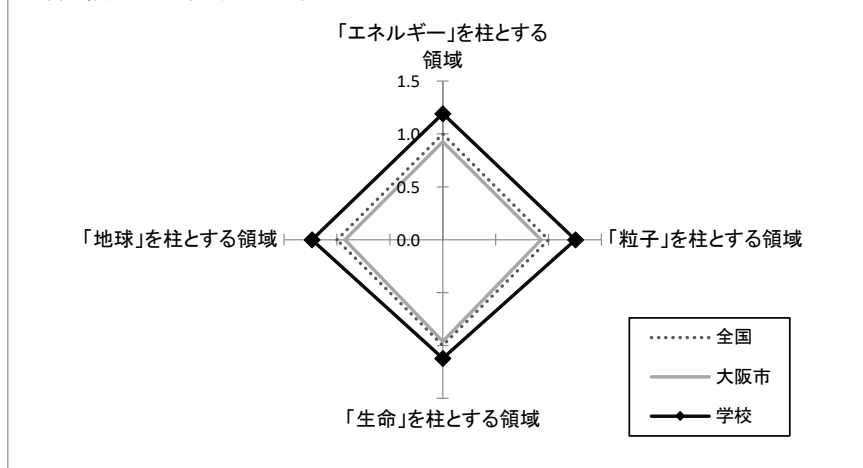


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対照 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分				
「エネルギー」を 柱とする領域	4	57.0	47.8	51.6
「粒子」を 柱とする領域	5	70.5	56.2	60.4
B 区 分				
「生命」を 柱とする領域	5	81.0	72.2	75.0
「地球」を 柱とする領域	5	73.8	59.7	64.6



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

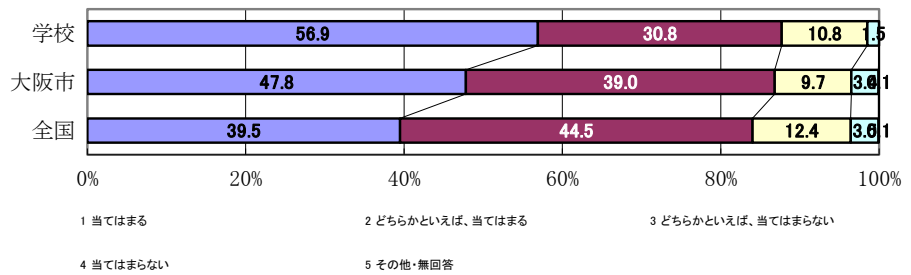
質問番号

質問事項

51

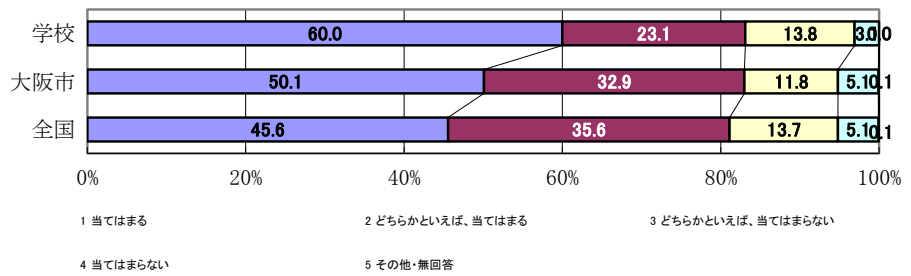
国語の授業の内容はよく分かりますか

1 2 3 4 5 6 7 8



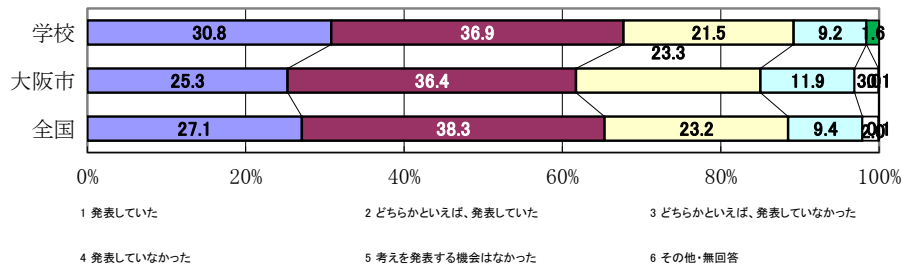
55

算数の授業の内容はよく分かりますか



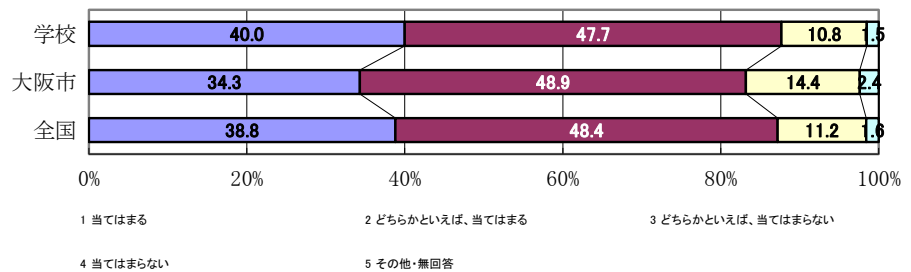
38

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



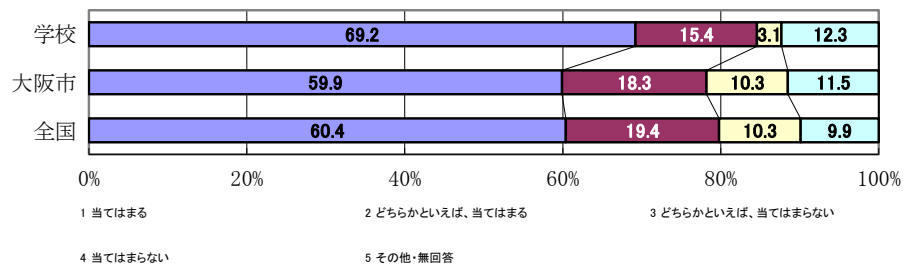
10

自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



9

将来の夢や目標を持っていますか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

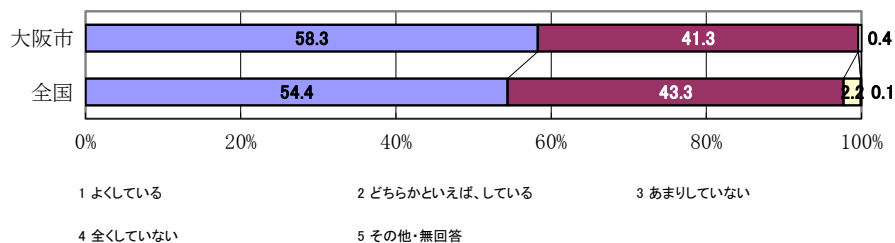
質問番号

質問事項

19

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

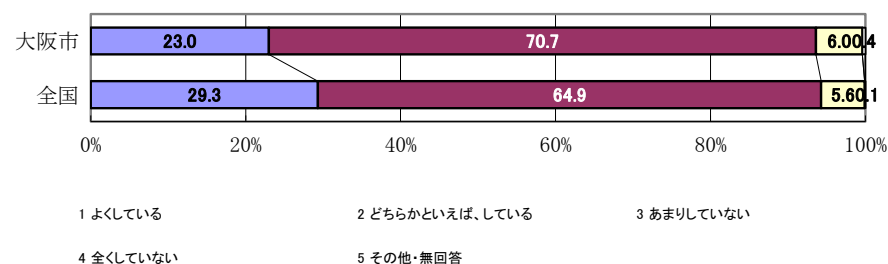
学校 「よくしている」を選択



17

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

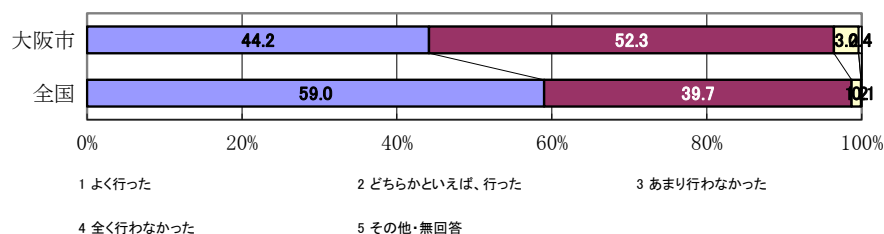
学校 「どちらかといえば、している」を選択



10

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

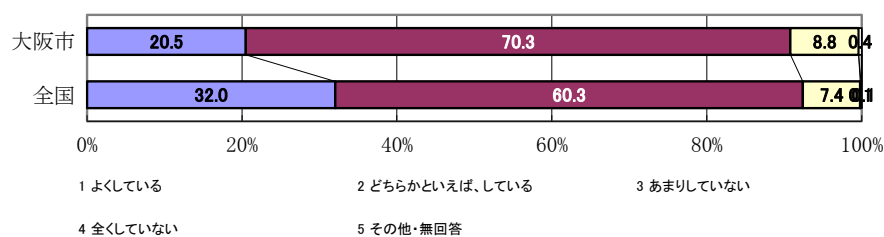
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



18

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



8

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

